

働く ◎パートタイムはじめました◎

【エピソード】

和子さんは45歳。中学3年の息子と中学1年の娘がいます。夫は同い年の会社員です。結婚後はずっと専業主婦として家事と子育てに専念していましたが、半年前から家のローン返済や教育費のためにパートタイムの仕事を始めました。和子さんの勤務は、週5日、朝9時半から夕方5時までです。

この日も、いつものように仕事を終え、駅前のスーパーに寄って買い物をすませて外に出ると、雨が降りだしました。干しっぱなしの洗濯物のことを気にしながら、和子さんは急いで家に向かいます。家に着くと子どもたちはすでに帰っていて、洗濯物はちゃんと取り込まれていました。「洗濯物、取り込んでおいてくれたのね。さすが女の子ね」和子さんがそう言うと、「何か言った？」と娘がちらっと和子さんの方を見ましたが、すぐにまたファッション雑誌を読み始めます。

二階から息子が階段を降りてきました。「お母さん、6時半から塾なんだから、早く何か食べさせてよ。あっそうそう、制服のボタンつけておいてねっていったのに、取れたまま学校へ行ったんだよ」「あっ、ごめんなさい。今日中につけとくわ」「それってお母さんの仕事だろ。ちゃんとしてくれないと、かっこう悪いよ」「……………」

和子さんは急いでみそ汁の鍋に火をつけ、キャベツをきざみ、スーパーで買ったコロッケをお皿に並べて出しました。息子はあつという間にたいらげて、家を飛び出ていきました。

さっきまで雑誌を読んでいた娘が台所にきます。「今日のごはん何？えっ、また揚げ物？ダイエットしてるのに太っちゃうよ」「文句ばかり言わないでたまには手伝ったらどうなの？」「何で私にばかり言うの？お兄ちゃんにも言ってよ」「お兄ちゃんは男の子じゃないの。それに勉強が忙しいでしょ？」「何それ。そんなこと関係あるの？」そう言って、娘は2階に上がってしまいました。

和子さんは、朝、家族が食べてそのままにしていた食器を洗いながら、何やらぼんやり考え込んでしまいます。



和子さんのひとりごと



4月から働きはじめたんですけど、家族のリズムは私が家にいるときと同じなんです。そのことをきっぱり言わない私にも責任がありますけど、夕食の後片づけをして、明日のお米を研ぎ、炊飯器のタイマーをセットして、こうやってアイロンがけをしてる姿、みんな見るようで見ていないのかな。

さっきも、11時を過ぎて帰った夫に、「残業でクタクタに疲れて帰ってきてるのに、またスーパーの総菜なのか？なんとかしてくれよ」なんて言われたんです。仕事で疲れちゃって、時間をかけて晩ごはんを作る力が残ってないのよ」って言い返したんですけど、「仕事って言っても君の仕事はパートじゃないか、定時に帰れるんだし、ちゃんと両立できるだろ。こんなご飯じゃ子どもたちもかわいそうだと思うじゃないか？」なんて言うことだけ言って、食べるだけ食べて、お風呂に入っちゃうんです。夫は風呂上がりにビールを飲みながらテレビでプロ野球の結果を確かめて、ベッドに入ってしまった。

あ、そうだ。制服のボタンつけしないと……。でも、考えたら息子もこのままじゃ夫のようになっちゃいますよね。もう一日放っておいて、次の土曜日に息子といっしょにボタンつけをしようかしら。料理も一緒につくってみよう〜っと。

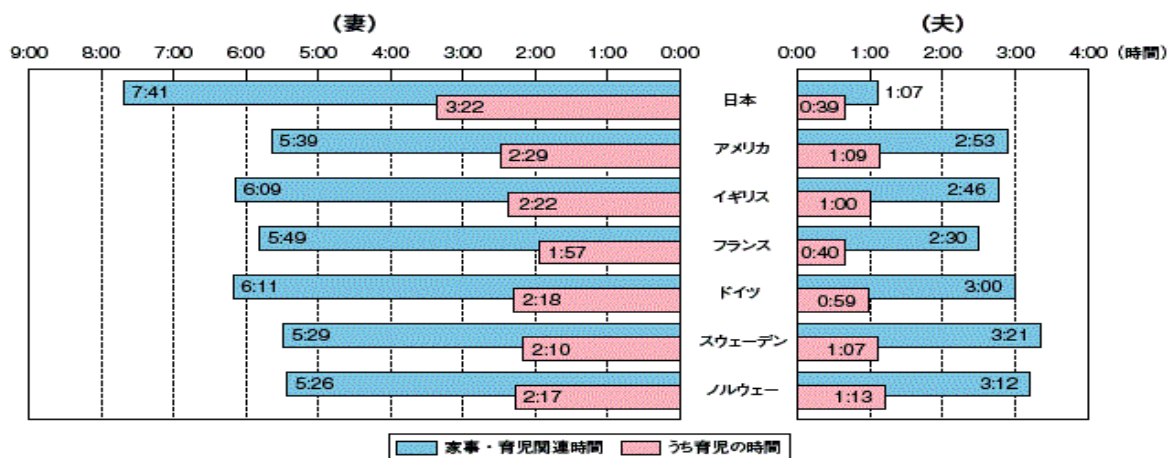
話し合ってみましょう

- あなたなら前ページ13行目の「……………」に、どんなセリフを入れますか？
- 和子さんは、食器を洗いながらどんなことを考えているのでしょうか？
- 「和子さんのひとりごと」であなたが気になることは？

【発展編】

働く

育児・家事の男女分担（内閣府）

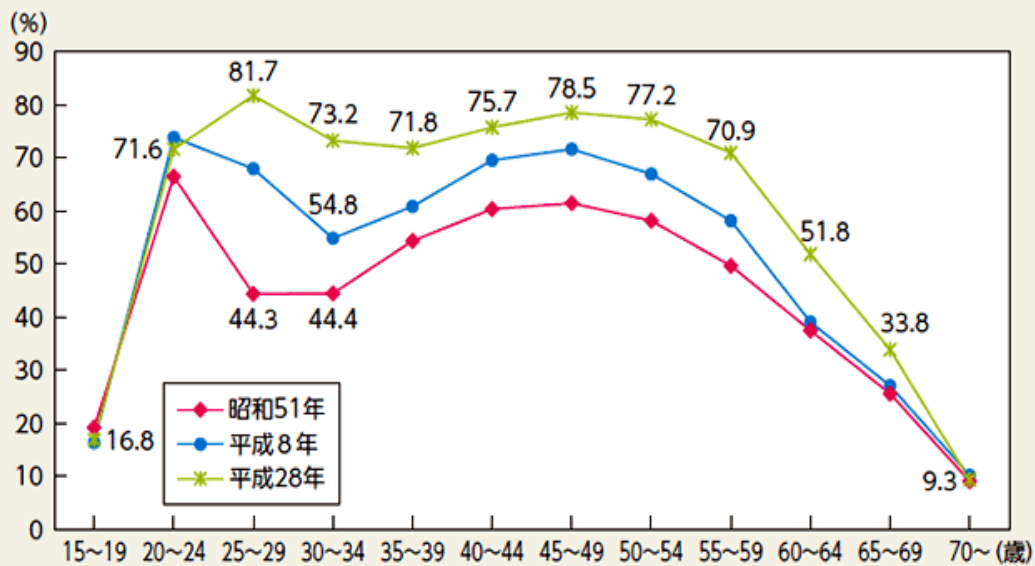


(備考) 1. Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey" (2015) 及び総務省「社会生活基本調査」(2011 (平成23)年)より作成。
2. 日本の数値は、「夫婦と子供の世帯」に限定した夫と妻の1日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間(週全体)である。

資料：内閣府資料

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/data/ottonokyouryoku.html>

I-2-3図 女性の年齢階級別労働力率の推移



(備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」より作成。
2. 労働力率は、「労働力人口(就業者+完全失業者)」「15歳以上人口」×100。

(内閣府『男女共同参画白書』平成29年度版)



【キーワード】

■M字カーブとは？

日本人女性の年齢階級別労働力率のグラフを描くと、アルファベットのMに似た形の曲線になり、日本における女性の就業形態の特徴を表しており、これを「M字カーブ」と呼んでいます。15歳以上の女性人口に占める働く人の割合(求職中の人を含む)は、学校卒業後20歳代でピークに達し、30歳代の出産・育児期に落ち込んだ後、子育てが一段落した40歳代でふたたび上昇し、高齢になるにしたがってなだらかに落ちていく形になっています。Mの真ん中にあたるくぼみは年々浅くなる傾向にありますが、結婚や出産・育児等で退職する人が多くいる、ということを示しています。

■女性就労者の過半数が非正規雇用 賃金格差も大きく

総務省統計局「労働力調査」(平成28年度)によると、雇用されている男性のうち正規雇用が77.9%、非正規雇用は22.1%であるのに対して、女性の比率は正規雇用が44.1%、非正規雇用が55.9%と女性の非正規率が非常に大きくなっています

また、厚生労働省平成28年度「賃金構造基本統計調査」によると、男性は335,200円、女性では244,600円となっており、男女賃金格差は男性を100とすると、女性は73.0となっています。

■ワークシェアリング

ワークシェアリングとは、雇用機会、労働時間、賃金という3つの要素の組み合わせを変化させることを通じて、一定の雇用量を、より多くの労働者間で分かち合うことを意味します。例えば、従業員1人あたりの所定内労働時間を短縮し、社内でより多くの雇用を維持する。失業者対策としては、新たな就業機会を提供することを目的として、国または企業単位で労働時間を短縮し、より多くの労働者に雇用機会を与える。また、正社員について、短時間勤務を導入するなど勤務の仕方を多様化し、女性や高齢者をはじめとして、より多くの労働者に雇用機会を与えるということが可能になります。

■男性が地域活動や家庭生活へ参加するのに必要なこと

次に挙げるのは、「男女共同参画に関する4か国意識調査」(日本、アメリカ、スウェーデン、ドイツ)で、男性が地域活動や家庭生活へ参加するのに必要なこととして設けられた項目です。どの項目が大切だと思いますか。

1	男性も女性も対象に、仕事と家庭の両立を支援する体制の整備を図る	
2	労働時間を短くして余暇を増やす	
3	男性の地域活動参加に関する情報が身近にわかるところを増やす	
4	家庭で親などが男性の地域活動や家庭生活への参加の必要性を教える	
5	男性が地域活動や家庭生活に参加しやすくなるような学習機会を増やす	
6	学校で男性の地域活動や家庭生活への参加の必要性を教える	
7	男性の地域活動や家庭生活への参加を進めるための啓発活動をする	
8	その他	

「諸外国における男女共同参画に関する調査研究報告書」(平成7年度総理府委託調査平成8年3月(株)野村総合研究所より)



働くからひろげていくと



- 1 責任感の強い会社員のAさん。むずかしい仕事を一人で抱え込み、「自分がやらねば」と思いつめています。毎日おそくまで残業し、休日出勤もあたりまえという日々を送っていました。ある日、残業中に倒れて救急車で病院に運ばれました。もし、倒れたときに同僚がいなくて、通報が遅れていたなら「過労死」したかも知れません。
- 2 Bさんは47歳の主婦。さっぱり勉強しない息子のCさんでしたが、なんとか高校に合格しました。しかし、一年生の夏休み明けから学校を休みがちになり、かろうじて二年生になったいまも、週に一日、二日は休んでしまいます。しかし、学校は休んでも、アルバイトは絶対休みません。アルバイトで得たお金で、高価な靴やジャンパーを買い、夜遅くまで友達のところまで遊んで、門限も守れません。勉強するよりも、働いて自分のやりたいことだけをしている毎日。そんなCさんを、Bさんは認めたくありません。
- 3 Dさんは24歳、市内の企画事務所に勤めています。直接の上司であるEさんは、Dさんにお茶くみやタバコを買ってくるよう命じたりします。また、Eさんの上司にあたる課長は、「うちの女の子にコピーを取らせてくれ」などと、Dさんを名前では呼ぼうとしません。課長の背後の壁には女性の水着のポスターが貼られ、書類を置きにいくたびに気になります。Dさんは、自分が希望して入った職場なのに、自分の力を出せず、勤務時間の終わるのを待つ日々が続いています。

